英検2級　ライティング

●以下のTOPICについて、あなたの意見とその理由を2つ書きなさい。
●POINTS は理由を書く際の参考となる観点を示したものです。ただし、これら以外の観点から理由を書いてもかまいません。
●語数の目安は80語～100語です。
●解答がTOPICに示された問いの答えになっていない場合や、TOPICからずれていると判断された場合は、0点と採点されることがあります。TOPICの内容をよく読んでから答えてください。

**TOPIC**
In some Japanese university programs, students must study abroad for one year. Do you think university students should study abroad?

**POINTS**
●Cost
●Work
●Communication

（『英検2級予想問題ドリル［新試験対応版］』より抜粋）

**解答例**

I believe it is good for university students to study abroad. One reason is that they can make friends from all over the world. Thanks to SNS, they can keep in touch with friends easily even after returning to Japan. Also, with experience abroad, they will be able to communicate with foreigners without hesitation. The world is becoming more and more globalized, so even when working in Japan, they will have many chances to do business with foreign people. For these reasons, I think university students should study abroad.

|  |  |
| --- | --- |
| 主張  | I believe it is good for university students to study abroad. |
| 理由1   |   | One reason is that they can make friends from all over the world. |
| 補強 | Thanks to SNS, they can keep in touch with friends easily even after returning to Japan. |
| 理由2  |   | Also, with experience abroad, they will be able to communicate with foreigners without hesitation. |
| 補強 | The world is becoming more and more globalized, so even when working in Japan, they will have many chances to do business with foreign people. |
| 再主張 | For these reasons, I think university students should study abroad. |

**自分の意見を言い表す**

I think …. （私は…だと思います）／ I do not think ….（私は…ではないと思います）が定番です。I believe …. （私は…だと思います）も使えます。We must …. （私たちは…しなければなりません）と言えば、とても強い信念を表せます。In my opinion, …. （私の意見では、…）や People should …. （人々は…すべきです）という表現も使えます。自分の見方とは違う意見を紹介した上で自分の考えを表明するときには、However, …. （しかしながら）を使いましょう。

**理由を挙げる**

理由を2つ挙げるには、One reason is …. （1つの理由は…）と Also, …. （そして、…）という表現があります。First, …. （第一に、…）と Second, …. （第二に、…）も使えます。

**具体例を挙げる**

such as …や for example, …、for instance, …（例えば…）という表現が定番です。In my experience, ….（私の経験では、…）を使うと、自分の体験を具体例として示すことができます。

**結論として意見を再主張する**

For these reasons, …. （これらの理由で、…）や Therefore, …. （ですから、…）、As a result, …. （結果として、…）などのつなぎ語が役立ちます。また、冒頭で I think …. と意見表明した場合、結論で I believe …. と述べるなど、表現にバリエーションをつけるようにしましょう。

**解答のチェックリスト**

**問いに適切に答えているか**

与えられたTOPICとは別の内容を書いていないか、「理由を2つ書く」という要件を満たしているか、この2点は特に重要です。メモを作成したあと、解答用紙に書き始める前に、今一度確認しましょう。

**意見と矛盾する理由や説明がないか**

エッセイの趣旨が「わかりやすく論理的であること」も採点のポイントの1つです。意見に対する理由、また理由を補強する具体例や説明に矛盾する内容はないか、注意して点検するようにしましょう。

**理由に対する説明や補足があるか**

理由に対する説明や補足がないと、説得力を欠く内容になってしまいます。また、目安の語数も満たしにくいでしょう。ですから、理由1と理由2のそれぞれに対して、具体例や事実、追加の説明などを1～2文ずつ加えて、その内容を補強するようにしましょう。

**関係のない内容が含まれていないか**

主張や理由とは無関係な文章や、論理展開からはずれる内容が入っていると、「わかりやすく論理的であること」という採点の観点からはマイナスとなります。

**つなぎ語を適切に使っているか**

つなぎ語（for example や therefore など）を適切に使えていると、エッセイの内容がわかりやすくなります。また、英語のエッセイで理想とされる構成を理解できているというアピールにもなります。

**スペルミスがないか**

焦ると思わぬミスをしがちです。文頭の単語や固有名詞の語頭をきちんと大文字にしているか、ピリオドを書き忘れていないかなども確認しましょう。

**英語ではない単語を使う場合、その語の説明があるか**

日本語特有の表現などを使う場合は、英語話者に理解できるよう説明を加えましょう。例えば、a kimono, a traditional Japanese dress, のように、カンマで区切って解説する表現が便利です。和製英語などのカタカナ語は、エアコンなら air conditioner など、正しい英語に直すよう気をつけましょう。

**時制のミスがないか**

動詞を時制に合った適切な形にしているかチェックしましょう。

**単数／複数が適切か**

英語は単数／複数の区別が日本語より厳密なので、気をつけて確認しましょう。例えば、「友達ができました」など、日本語では数をあまり意識しない場合でも、英語では1人の友達か複数の友達か、明確にしなくてはいけません。また、数えられる名詞の複数形に-s [-es]が付いているか、主語の単複や人称に応じて適切な動詞の形を使っているか、などをチェックしましょう。

**冠詞がついているか**

任意の単数形の名詞に冠詞の a / an が付いているか、既出または特定の名詞に定冠詞の the を使っているか、確認しましょう。